

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2001-312733 (P2001-312733A)
 【公開日】平成 13 年 11 月 9 日 (2001.11.9)
 【出願番号】特願 2000-371332 (P2000-371332)
 【国際特許分類】

G 0 6 T **7/60** **(2006.01)**
G 0 6 T **1/00** **(2006.01)**
H 0 4 N **1/387** **(2006.01)**
H 0 4 N **7/08** **(2006.01)**
H 0 4 N **7/081** **(2006.01)**

【F I】

G 0 6 T 7/60 1 5 0 P
 G 0 6 T 1/00 5 0 0 B
 H 0 4 N 1/387
 H 0 4 N 7/08 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 12 月 5 日 (2007.12.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 各部分における格子エレメントの質量中心のアライメントをとることによって格子画像の重畳された部分の複合画像を形成するステップと、

前記複合画像内の格子エレメントの質量中心を介したラインフィットによって格子軸を決定するステップと、

を備える、格子画像パターンの向きの角度を決定する方法。

【請求項 2】 埋め込みデータを基体上に具現化した基体の画像をキャプチャするように構成された画像キャプチャデバイスと、

キャプチャした画像から前記埋め込みデータを復号化するデコーダと、

前記復号化された埋め込みデータに基づいて前記基体とオーバーレイされた情報をディスプレイするディスプレイと、

を備える、埋め込みデータを用いて位置合わせされた情報をディスプレイする装置。

【請求項 3】 前記基体と相対して位置づけられた光学デバイスであって、該光学デバイスを通してユーザが前記基体上の第 1 の画像を見ることが出来る光学デバイスを更に備える、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】 前記ディスプレイは、前記第 1 の画像内の情報に第 2 の画像情報をオーバーレイするために、前記光学デバイスに第 2 の画像を表示するように構成された、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】 前記デコーダは、前記埋め込みデータを、X、Y ロケーション及び向き情報を複合化することで複合化する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 6】 各部分における格子エレメントの質量中心のアライメントをとることによって格子画像の重畳された部分の複合画像を形成するように構成された画像モジュールと、

前記複合画像内の格子エレメントの質量中心を介したラインフィットによって格子軸を

決定するように構成された軸モジュールと、
を備える、格子画像パターンの向きの角度を決定する装置。